

第4回確認テスト

第3回確認テストが終わりました。夏休みに勉強してきた成果を発揮することはできたでしょうか。根気強く、正しい勉強方法が続けていれば必ず成果は出ます。勉強方法などに悩んだら、教科担任の先生や担任の先生に相談しましょう。

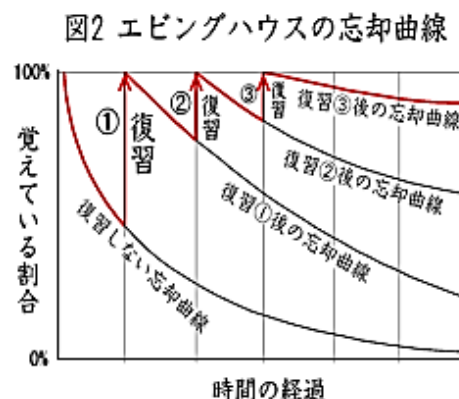
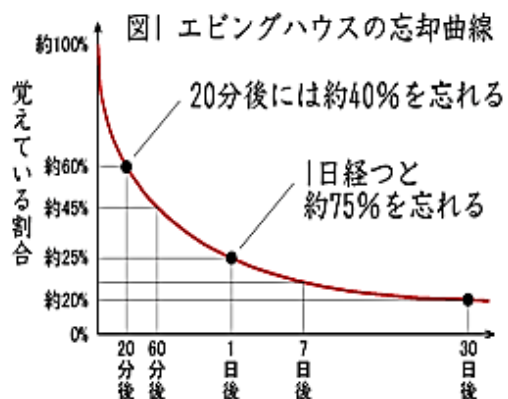
さて、10月6日（月）に第3回確認テストが行われます。試験範囲を示しますので、学習に励んでください。

＝第4回確認テスト 出題範囲＝

教科	出題範囲
国語	・聞き取りテスト ・漢字の読み・書き ・説明的文章の読解 ・文学的文章の読解 ・古典 ・作文 ・文法
数学	・1、2年の学習内容 ・3年の領域 式の展開と因数分解 平方根 二次方程式 $y = ax^2$
英語	・リスニング ・長文読解 ・短文読解 ・対話文読解 ・語い 英作文 ・現在完了 ・動詞 + 人 + that ～ ・その他復習問題
理科	・1・2年の学習内容 ・生命の連続性 ・化学変化とイオン（水溶液とイオン）
社会	・地理総合 ・歴史総合 ＜公民分野＞ ・私たちの生活と現代社会 ・個人の尊重と日本国憲法①（人権と日本国憲法まで）

復習の力

ドイツの心理学者ヘルマン・エビングハウスが発見した「エビングハウスの忘却曲線」というものを知っていますか？「人の脳は一度勉強したことを1時間後には55％忘れ、1日後には75％、1週間後には78％、1か月後には80％を忘れる」とされています。もちろん個人差はありますが、（図1）のように時間が経つほど記憶は減り、たった一度だけ勉強した後の記憶は、忘却曲線に沿って簡単に忘れ去られてしまいます。



では、どうしたらよいのか。それは、「何度も繰り返し勉強する」ことです。繰り返して勉強した場合は、すぐに忘れることはありません。（図2）のグラフのように、だんだんと曲線が緩やかになっていきます。つまり、復習の回数を重ねる度に忘れにくくなっているのです。人は繰り返し学ぶことで、記憶を強めることができます。ぜひ、この習性を利用しましょう。勉強したものを復習する間隔は、1週間後に1回目、2週間後に2回目、4週間後に3回目というサイクルが最もよいとされています。また、繰り返し勉強する中で「アウトプット」することも大切です。声に出して読んだり、誰かに説明したり、人に教えたりすることで、記憶を強めることができます。意識して勉強してみてください。

